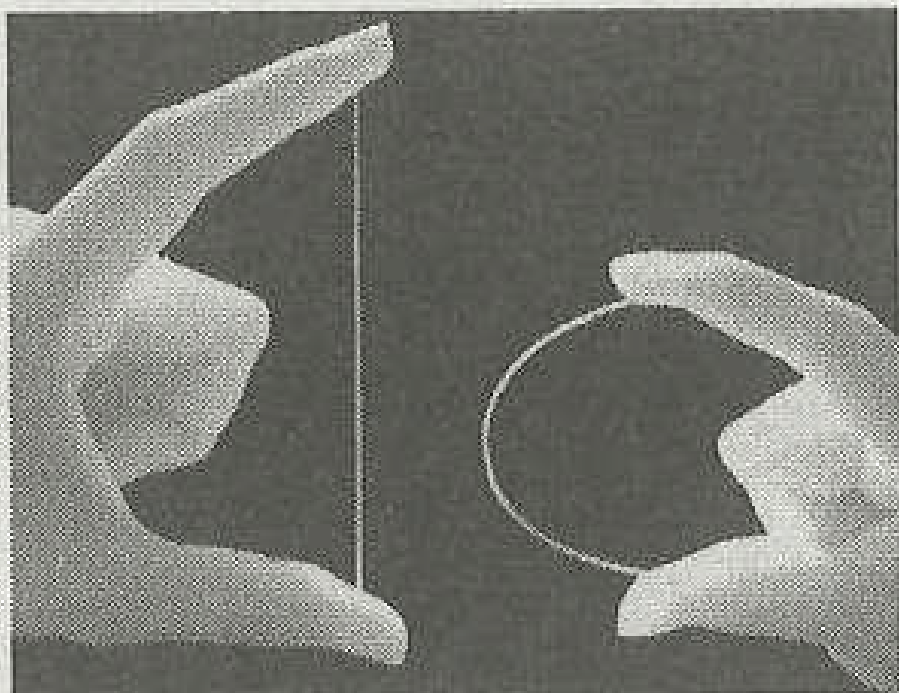


# βチタン合金パイプ加工

## 二九精密機械 軽量・高強度を訴求

【京都】二九精密機械工業（京都市南区、二九良三社長、075・66



1・2931）は、開発したβチタン合金パイプ（写真）のサンプル販売をはじめた。軽量

で耐食性や強度が高いことを訴求して需要を掘り起こす。このため、国内外の医療・パイオ関連分野の展示会にも相次いで出展する。航空・宇宙、安心・安全などの分野での採用

も見込んでおり、欧米を中心とする海外も含めた提案活動に力を入れる。βチタン合金は比重が

小さいことに加え、耐食性や強度が高くバネ性に優れる。パイプ状への加工が難しいとされる。同社は分析や医療、半導体といった分野で強みとする微細加工技術を生かし、直径6ミリの以下の小径パイプの事業化に他社と共同で取り組んでお

り、現在は外径0・5ミリ×内径0・3ミリまでのパイプ加工技術を確立している。

1月に京都大学桂ベンチャープラザ（京都市西京区）内の研究室スペースを約5倍の205平方メートルに拡張。試作の精度も高まったことから、サンプル供給や展示会で同パイプの用途を探る。試作品は長さ1メートル2本で、8月末まで5万2500円

で販売。今月に日本での医療機器関連技術とパイオ技術の各展示会に、11月にはドイツの医療関連見本市に出展する予定。

同社のβチタンパイプ関連事業は2010年11月に京都府の支援事業に選ばれた。事業期間中に量産技術を確立し、15年度に36億7500万円の売り上げを目指す。